

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)						区分・【新主題】/ (分野)		授業形式				
E142L033		マルチメディア技術 (Multimedia Technology)								対面				
必修選択		単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語	その他に使用する言語	担当形態					
選択		2	3	教育学部			日本語		単独					
担当教員	氏名 市原靖士 E-mail ichihara-yasushi@oita-u.ac.jp 内線													
	授業の概要 マルチメディアに関する理論を学び、実践的、応用的に利活用する方法を習得する。													
具体的な到達目標								DP等の対応(別表参照)						
目標1	マルチメディアの基礎的な知識や技能を習得する							1	2	3	4	5	6	7
目標2	マルチメディアの制作実習を通して実践力を身につける													
目標3														
目標4														
目標5														
目標6														
目標7														
目標8														
目標9														
目標10														
各DPへの関連度(計10)								6	4					
授業の内容														
1	マルチメディアの概要													
2	マルチメディアの歴史													
3	マルチメディアの現状													
4	テキストを中心としたマルチメディアとweb技術													
5	音声を中心としたマルチメディアとweb技術													
6	動画を中心としたマルチメディアとweb技術													
7	マルチメディア制作の基礎的な構想													
8	マルチメディア制作の基礎的な設計													
9	マルチメディア制作の基礎技術													
10	マルチメディア制作の応用技術													
11	マルチメディアの制作実践1													
12	マルチメディアの制作実践2													
13	制作作品の発表1													
14	制作作品の発表2													
15	まとめ													
ラ ア イ ク ニ テ ン イ グ ブ	A:知識の定着・確認 B:意見の表現・交換 C:応用志向 D:知識の活用・創造	マルチメディアに関する知識をもとに制作し、作品について発表、協議をする。						工そ 夫の 他の の	外部講師による実践事例					
授業時間外 学修の内容 と想定時間		準備学修		アプリケーションソフトの設定と環境整備など										
		事後学修		マルチメディア作品の設計、構想等										
		想定時間合計												
教科書		なし												
参考書		入門マルチメディア[改訂新版] 画像情報教育振興協会2,018年出版 ISBN4903474607												

成績評価の方法及び評価割合	評価方法	40% 20% 40%	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
	制作作品発表		40%										
	試験		20%										
			40%										

注意事項	PCの必携		
備考			
リンク	<table border="1"> <tr> <td>URL</td> <td></td> </tr> </table>	URL	
URL			
担当教員の実務経験の有無			
教員の実務経験	中学校教員（10年以上）		